



**全国福祉用具専門  
相談員協会会長**

**山下 一平氏**

本会は2007年7月10日、福祉用具専門相談員の職能団体として設立されました。福祉用具専門相談員は介護保険制度に位置づけ

られ、ご利用者やそのご家族が福祉用具を選定する際、相談援助を行うとともに、導入後、適切なご利用

力をもつべきがあり、それを担保する仕組みとして機能していますが、福祉用具

が高まっています。そこで、本会理事で大阪市立大学

は、09年度事業の柱です。計画作成が法定義務である他の介護サービスでは、質

のアクセス数も2万件を超

えなど、社会的にも関心

一方、事業のもう一つの柱は、「評価ポイントシステム」です。これは、会員

が受講した研修実績を求い

ントにしてウェブサイトで

現の期待を受けて登場した

った結果、3ヶ月の短期間でHP「計画書コーナー」

修等を行っていく事を決めました。

も養成し、各地で作成研

究というものの利用効果の恩恵を最大限に受けるためには、それを必要としない

うちから、その価値の認識をしっかりと持っておくこ

とにが大事です。

す。少子高齢化が今後も続く中、福祉用具、そしてそのサービスを提供する専門相談員に対する期待は高まっています。しかし、現状では専門相談員により能

力にもばらつきがあり、その社会的評価も必ずしも高

いとはいせず、この期待に

## 相談員の専門性向上へ

応えられる状況にはあります。本会では計画作成、そのサービスを改善するため、様々

そ、専門職として専門性を

委員長に「福祉用具個別支援助計画」推進委員会を設立。標榜様式を開発。そ

せん。本会ではこのような状況を改善するため、様々な事業に取り組んでいます。しかし、現状では専門相談員の努力を評価する形で情報を探して、個々

の専門相談員の努力を評価する事で、個人の能力向上に向けたインセンティブ

日の「福祉用具の日」には、一般社会に向けて、福祉用具の普及啓発活動に取り組んでいます。豊かな超高齢